

令和6年10月1日

立教187年

10月号
第625号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

10月24日 大教会秋季大祭 世話人先生ご巡教

11月10日 宇仁大教会一斉団参



少年会「さんさいの里キャンプ」(詳細は、3ページ)

散歩道

長く続いた残暑のせいで今年も短くなりそうですが、私は季節の中で秋が一番好きです。

「スポーツの秋」「芸術の秋」「行楽の秋」「読書の秋」他にもいろいろありますが、これだけ季節に肩書きがつくのも秋ならでは。

「紅葉」や「小さい秋見つけた」などの秋の歌も、少し哀愁があってもいい。

過ぎた賑やかな春夏を思い返し、少しづつ冬の寒さを感じ始める時、やっぱり秋が良いなと郷愁をおぼえます。ぼちぼちこの漢字の意味がわかる年代に差し掛かってきたという事でしょうか。

そもそも四季を味わえるのも月の引力による地軸の傾きのお蔭との事。親神様の変わらぬご守護に感謝しつつ、「実りの秋」「食欲の秋」「天高く馬肥ゆる秋」の三点セットで、来る冬に備える事にしましょうか。

一 理 塚

ロシアとウクライナの戦争から二年半以上が過ぎました。イスラエルとパレスチナは停戦期間も含めて二十年以上も戦争が絶えず、此度の戦火から一年が経ちました。

他にも様々な国々、地域で争いが絶えません

日本国内を見ると、つい最近の自民党総裁選候補者の粗放な偽言、未だ絶えない特殊詐欺、DV、虐待、ハラズメント、嫁姑問題。

社会では、切磋琢磨ならず足の引っ張り合いや落とし合い、利権に賄賂と悪計なばかり事など、いざこざは絶えません

陽気暮らしのひながたとなるべき教会。その教会家族や上級教会、大教会でも、なかなか睦まじさが漂わず、団欒はほど遠い。何故なのでしょう？

最後の教えを説かれてから早188年目に入ろうとしています。人間が創られてからは幾億年経つでしょうか。今少し、神

様の思し召しを時間の経過に思い巡らしたいと思います。

まずは人類の歴史、日本の歴史を考えます。

石器時代、寒い世界で、複数の家族が大家族で移動しながら、狩猟した肉を分け合って暮らしていたようです。縄文時代は地球が暖かくなってきたので、狩猟の他にも植物や木の実など、食料が豊かになり、家族が数軒から十数軒の集落が形成され、定住して暮らすようになったそうです。弥生時代になると、稲作が盛んになって、縄文時代の後期より更に外敵から村を守り、集落ごとに団結するようになってたそうです。弥生時代、古墳時代と集落の家族数が増えると共に、一層団結力も強まる中、権力者が現れてきた。そして、飛鳥時代、奈良時代、平安時代と貴族中心の時代から武家中心の時代を経て、近代・現代へと人類社会が続いています。生活所有物も時代と共に変化進化していく中、暮らし方や考え方が移り変わってきています。

次に教祖ご在世当時に思いを

馳せませす。

日本の江戸時代晩期から明治時代中期に、現身をもってこの世にお現れました。ご承知のよう、幕末や明治初期は乱世で、大和の田舎でも多かれ少なかれ色々あったと思います。

そんな時代ですが、教祖は大和の三味田村の百姓家にお生まれ現れ、慈悲深く信心深いお心のままお育ちなされた後、庄屋敷村の百姓家に嫁がれました。

嫁がれた家は大庄屋でしたが、義父義母を始め、下男下女や雇人と、多くの家内の中、村の役などでも忙しい夫の仕え、孝養を尽くし、家内の者をいたわり、また人一倍の働き者でした。

恵まれた境遇の中、神憑りにあわれて月日の社となられてからは、貧に落ちきれとの神様のさしづのままに、家財を投げ打ちました。親族や周囲の人々の反対の中、夫を失い、明日食べる米さえ底をつく中でも、子供に将来を曇りなき行く末を語り、神様にもたれきる心の持ち方、陽気暮らしのあり方を教えられました。

また道が広まるにつけ、心無

い人々の乱暴狼藉や官憲の迫害、家内の者の疲弊や鬱憤をも、後々のたすけ話の台として受け止め、導き、どのような中でも喜びを忘れずに、神様の思し召しのまま世界たすけの歩みを怠ることはありませんでした。

これが私たちの信仰信念とする『教祖五十年のひながたの道』であろうと思います。

石器時代は約二万年、縄文時代は約一万年、弥生・古墳時代は約千年と言われます。

まして人間創造の元の理の話は約十億年。

歴史が教えてくれることは多大にあります。答えは歴史の中にありとも言われます。

この道は『急いて 急かんど』とお教え下さいますように、今日も明日も一步一步と、成人の足取りを怠らず、遅々ながらも歩んでいきましょう。

将来なる陽気暮らしに思いを馳せて…。

少年会主催 さんさいの里キャンプ

今年も八月二十二日～二十三日にかけて「立教一八七年夏休みさんさいの里キャンプ」に少年会宇仁団として十名で参加させて頂きました。

さんさいの里では道につながる子供たちが感謝の心をもって仲間とたすけ合うことを通して、陽気ぐらしの素晴らしさを学ぶことができるよう、本部の少年会のスタッフの皆さんが様々なプログラムを準備して下さいます。

今年もモルック、ペタンク、ボルダリング、フリスビーゴルフなどの野外ゲームや、ボードコール、ネイチャークラフトなどの工作を自然の中で体験させてもらいました。

また夜のキャンプファイヤーでは他の大教会からの参加者と一緒に歌やゲームを楽しみました。

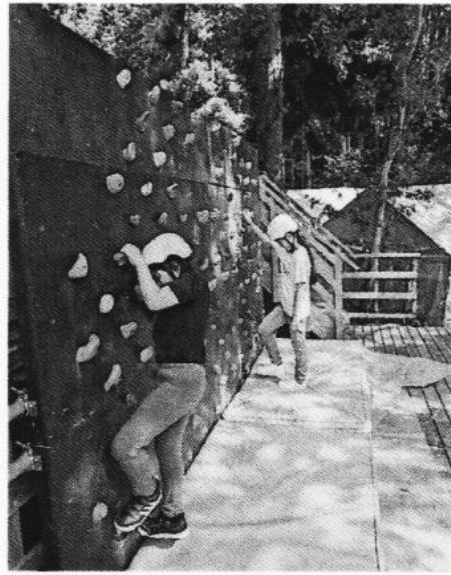
今年も猛暑が続きましたが山の木陰は少し涼しく、子どもた

ちは元気に二日間過ごす事が出来ました。またついでに大人もリフレッシュ出来ました。また来年も参加したいと思えますのでぜひ皆さんご参加下さい。

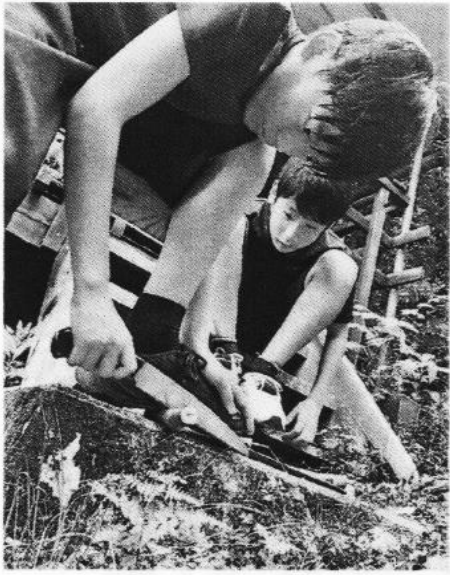
少年会宇仁団団長 原田信一



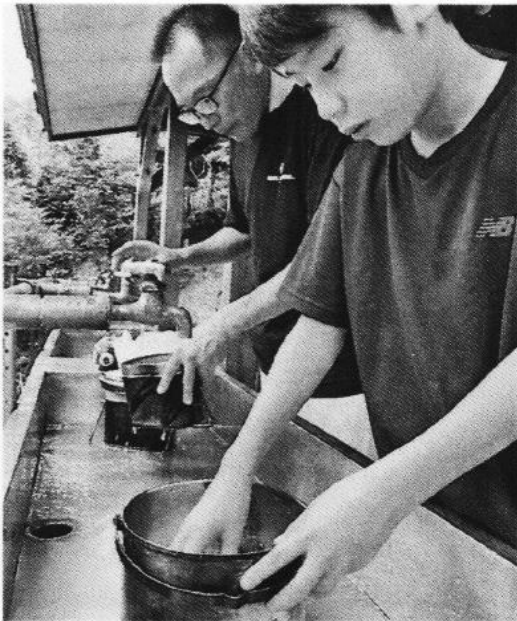
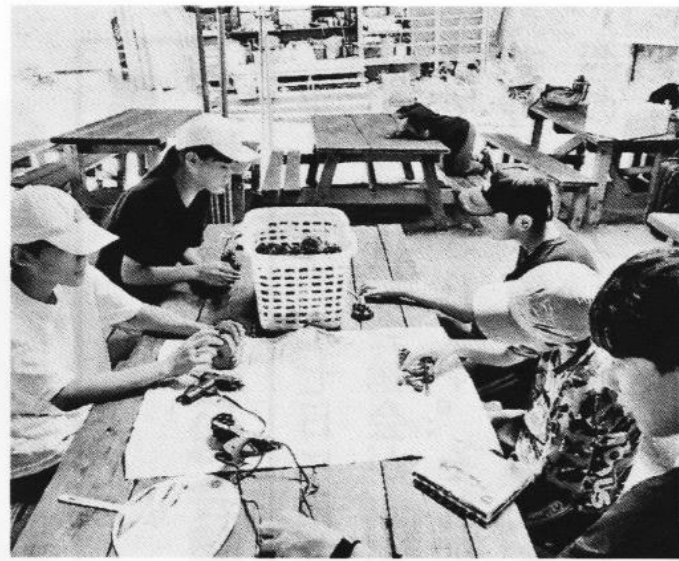
しっかり狙って～(モルック)



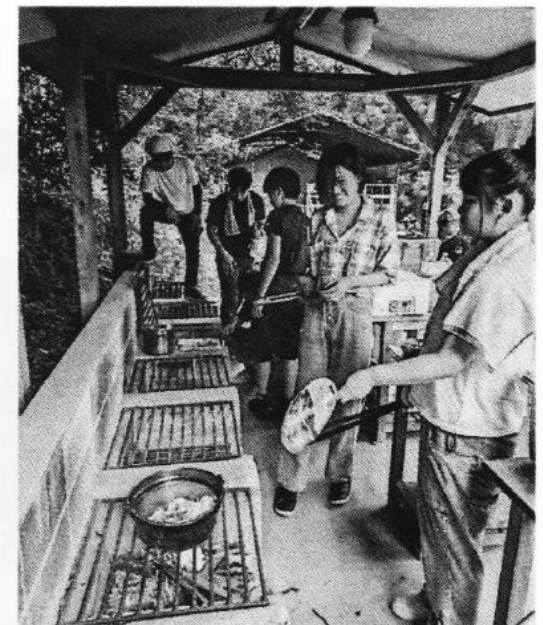
落ちる～(ボルダリング)



クラフト楽しい～



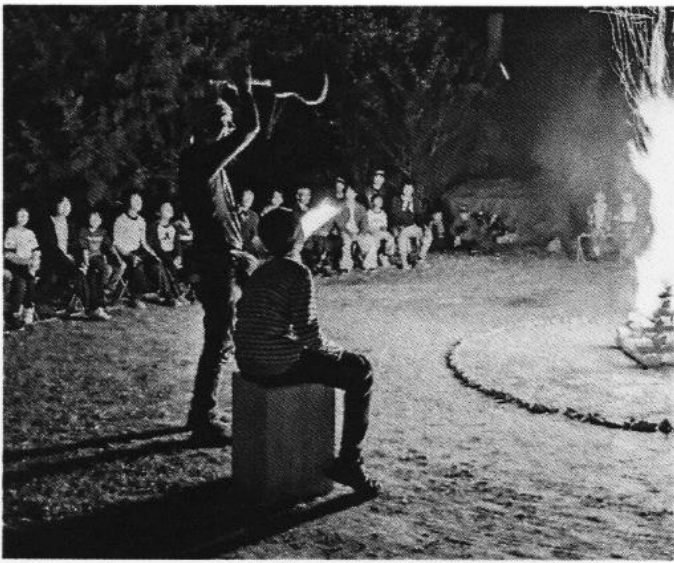
美味しいカレー～作るぞ～



完成までもう少し



みんなで作った
カレー～最高！！



ファイヤ～！！

「布教推進講話」を開催

去る八月二十四日、大教会月次祭おつとめ終了後、神殿講話に替えて西大寺分教会長、平野晋先生より「布教推進講話」をいただきました。

先生は、その凄まじいまでの布教体験と、現代進行形でもある苦勞の道中をお話し下さり、布教を通しての心の成人を、切々と訴えられました。

なお、この講話の内容については、そのほとんどが体験談という性質上、文章化が難しいため、大教会から配信しているウェブサイトを開いてお聞き下さいますようお願いいたします。詳しくは布教部まで。



婦人会・あやめ会

にをいがけ活動

婦人会では毎月九日に例会を行っていますが、今月は大教会からのお声を受けて午前九時に集まって大教会周辺をにをいがけに歩かせて頂きました。婦人会員十三人で神名を流し、帰り道々戸別訪問、リーフレット配りをさせて頂き心勇ませてもらいました。

また、あやめ会では十九日例会日に大人五名、こども一名にてミライエ周辺でリーフレット配りをさせて頂きました。猛暑の中ではありませんが、親の声のおかげで教祖のおともをさせて頂くことができ、本当にありがた時間となりました。



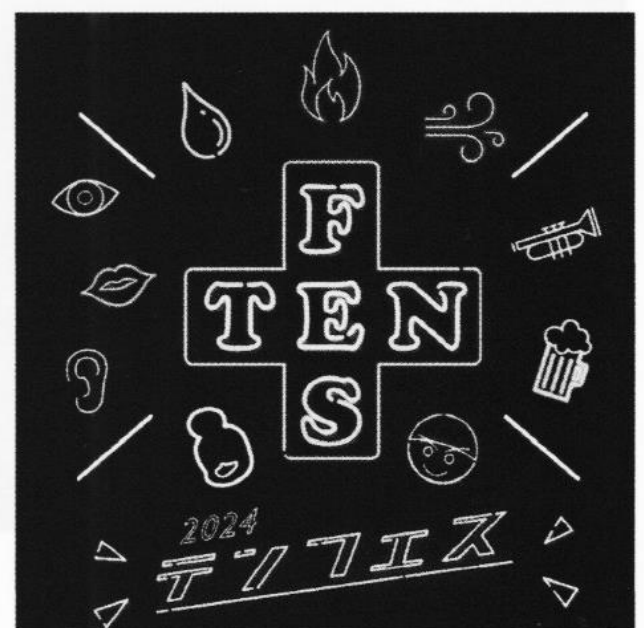
第98回 天理教青年会総会開催

来る十月二十七日に第九十八回天理教青年会総会が本部中庭にて開催されます。それに伴って前日の本部夕づとめ後より東西の泉水プール前広場にて前夜祭があります。今回宇仁青年会も「とりやき」の模擬店を出店する事になりました。そこで、宇仁婦人会、女子青年の若い力をお借りしたいと思っております。ご協力どうぞよろしくお願ひ致します。ただいま男女ともにひのきしんしていただける方大募集中です!! 詳細、詳しくは宇仁青年会遠藤までご連絡お願ひします。



前夜祭

日時 十月二十六日(土) 夕づとめ後 場所 東西泉水プール前広場



そうだ。

僕たちにはおぢばがある。

なぜ、あなたは 信仰しているのですか。

式典



式典

日時 十月二十七日(日) 午前十時 場所 本部中庭

雅道会

演奏会&発表会

お知らせ

雅道会（兵神大教会とそれに繋がる飾東、網干、神崎、社、加古、夕張、宇仁の各大教会雅楽部）では、毎年秋に持ち回りで発表会を行っています。

今年は宇仁が当番となるため、来る十月二十八日（月）夕刻に大教会神殿にて発表演奏会を実施いたします。

それに先立ち、雅道会選抜チームが西脇小学校体育館で全校児童並びに父兄を対象に演奏会を開催いたします。

これは同小学校の創立百五十周年事業の一環として行われるもので、舞も含めた本格的な演奏会です。時間は午後1時から3時の予定で、一般の入場も可能（無料）です。

夕刻の発表会と合わせて是非多数ご観覧ください。

なお、お問い合わせは杉原谷分教会長今中まで。

教祖140年祭 宇仁大教会一斉団参

『ぢばの理を戴く』 ～おぢば帰りの推奨～

おぢばに心を寄せて足を運び、現実をつくしはこび、伏せ込む

日 程 立教187年11月10日（日）

内 容 11：30 おつとめ

本部お願いづとめ

教祖殿・祖霊殿参拝

12：30 昼食（詰所）

13：30 伏せ込みひのきしん（本部神苑）

別席（希望者）

15：00 閉会（東礼拝場前）

大教会長様あいさつ

解散

備 考

昼食は各教会ごとに詰所に申し込む（締め切り11月8日）

少年会宇仁団&学生会

第二回 合同お泊まり会

開催のお知らせ

今年も少年会宇仁団&学生会主催で十一月一日（金）～二日（土）に「第三回 合同お泊まり会」を開催させていただきます。主なプログラムは、

（一日目）

- ・リズムゲームでおつとめ練習
- ・テント設営
- ・テントの中でカードゲームやボードゲームを楽しもう

（二日目）

- ・へそ公園テラドームヘゴール
 - ・ビー玉コロコロ展やプラネタリウムを見に行こう☆
 - ・「宇宙っ子ランド」のジャンボすべり台、ふわふわドーム
 - ・広場でお弁当を食べよう
- となっております。楽しい内容盛りだくさんで開催させていただきますので多数のご参加お待ちしております。

お問い合わせ、お申し込みは少年会宇仁団団長 原田信一

(090-3616-3271)

までご連絡下さい。

宇仁女子青年

「こかん様に続く会」

お知らせ

十一月十日(日)大教会の一斉
団参に合わせておぢばで開催さ
せていただきます。

日程 十一月十日(日)

詰所集合:十二時三〇分

昼食

支部長様ご挨拶

鳴り物練習、ひのきしん

解散:十五時

当日、十一時三〇分より本部
神殿でお願いづとめが勤められ
ます。神殿では集合しませんが
各々、合わせて勤めさせていた
だきましよう。

二年後の教祖一四〇年祭に向
けて、女子青年の皆さんのご参
加をお待ちしております!



『宇仁会報に見る大教会史』 第91回

⑥平成という時代

(4)

平成七年一月十七日午前五時
四十六分、兵庫県南部を震源と
するマグニチュード7.3の地震
が発生。神戸市を中心に大きな
被害をもたらした。犠牲者の数
は六万四千人を超え、後に東日
本大震災が発生するまでは、戦
後最悪の自然災害となった。

当時は未だ携帯電話が普及し
ておらず、都会でありながら被
害状況や安否情報が杳として知
れなかったことを覚えている。

一月二十六日、本部春季大祭
において真柱様は、教祖百十年
祭年祭活動仕上げの年として、
震災からの復興に力を注ぐこと
を祭文に奏上されている。

本部では、震災直後に災害対
策本部を設置し、翌日には救援
物資の搬送を開始した。同時に
「災害救援募金」を公募し、四
月末までに総額四億円超を兵庫
県に寄託している。

また二月には中山善司様を委員
長に「復興委員会」を設置し、
被災教会に「復興の種」として
支援金を配布した。

宇仁に話を戻す。一月十五日、

わずか二日後にそんな大惨事が
起こることなど誰一人予想だに
せぬ中、大教会春季大祭が執り
行われ、大教会長から「仕上げ
の年に相応しい心の成人をさせ
て頂こう」とのお話を頂いた。

しかしながら大混乱の中にも拘
らず、一月二十九日には当初の
予定通り「ようぼく成人決起集
会」が大教会で開かれ、実に四
百二十名が参加。その中には神
戸の被災教会の姿もあった。

その後も二月二十六日と五月
二十八日には別席団参を実施。
四月二日には少年会おつとめま
なび総会を予定通り開催し、婦
人会を中心に「被災者救援バザー」
を行うなど、年祭仕上げの年と
して、心の成人と震災からの復
興の両面に力を注いだ。

おぢば通信

八月のうごき

◎八月帰参者

二二五名
(詰所調べ)

10月行事予定表

- 6日 青年会例会
- 9日 婦人会例会
- 15日 布教実働日
- 19日 少年会例会
- 24日 大教会秋季大祭
午前10時30分執行
- 26日 本部秋季大祭
午前8時執行
- 27日 天理教青年会総会前夜祭
天理教青年会総会

婦人会より

◇大教会炊事当番

- 10月 神福B
- 11月 中河合
- 12月 豊原

よろしく
お願いします